

NTT2030（リサイクル率維持）に向けて

2020年9月

NTTファシリティーズ中央
首都圏事業本部
NTTエンジニアリング部

■ N T T が定める環境目標 2 0 3 0

方針・指針

NTTグループ CSR憲章

✓ NTTグループのCSR活動の基本方針

NTTグループ 地球環境憲章

✓ 地球環境保護に関する基本理念と基本方針

NTTグループ 環境宣言

✓ 環境活動の指針

✓ 「地球環境の未来像」と「私たちがやりたい姿」

環境目標2030

✓ 2030年度までの環境活動の目標

NTTグループ 企業倫理憲章

✓ 企業倫理に関する基本方針と行動指針

NTTグループ 人権憲章

✓ 人権尊重に対する考え方

環境目標



社会が低炭素化
している未来へ

NTTグループによる社会のCO₂排出の削減貢献量を、
NTTグループ自身の排出量の10倍以上とします。

通信事業(データ中心含む)の通信量あたりの電力効率を、2013年度比で10倍以上とします。

気候変動への適応に貢献するため、あらゆる活動を通じた取り組みを積極的に推進します。また、ステークホルダーの皆さまとも協働していきます。



資源が循環
している未来へ

**NTTグループが排出する廃棄物の最終処分率について、
ゼロエミッション（1%以下）を達成します。**



自然と共生
している未来へ

生態系を保全するため、あらゆる活動を通じた取り組みを積極的に推進します。また、ステークホルダーの皆さまとも協働していきます。

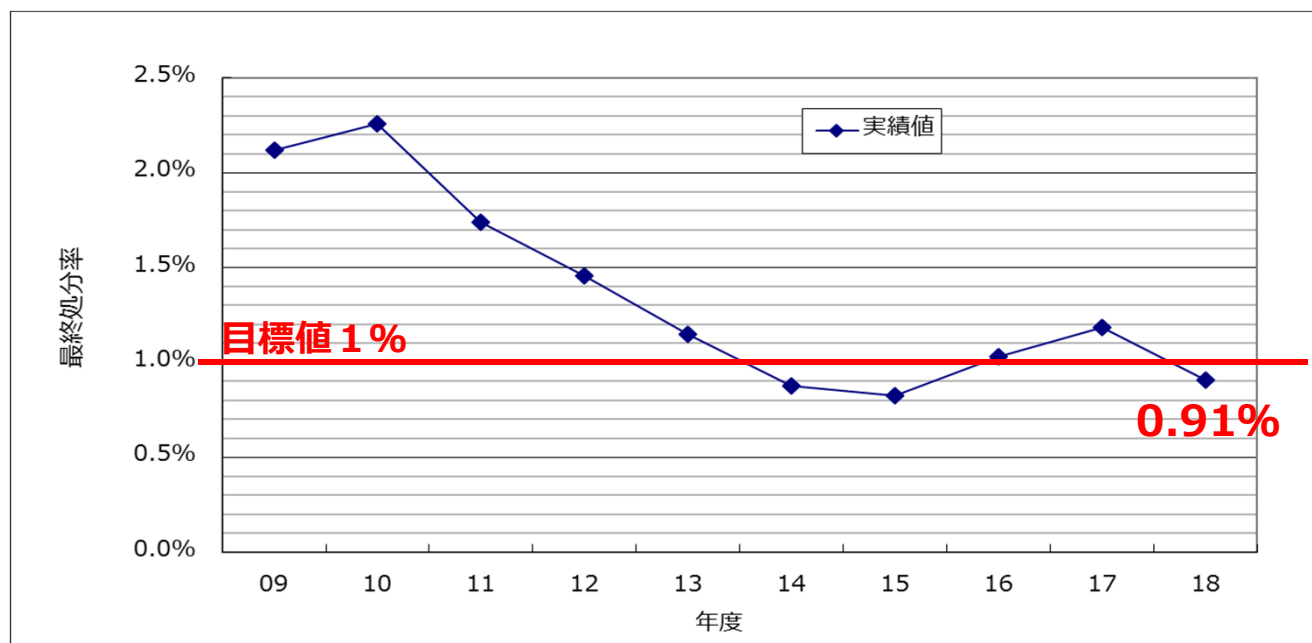
■リサイクル率向上に向けた依頼

【廃棄物全体】

2018年度に再度ゼロエミッションを達成。2019年度は現在集計中。

【建築廃棄物】

建築廃棄物は1～2%台を推移しており、2030年に向けて更なる協力が必要。



【みなさまへのお願い】

- ・リサイクル率向上を意識のうえ、日々の業務にご協力いただきたい。
- ・リサイクル率向上を意識した、優良中間処理施設の選定等をお願いしたい。

(注) ゼロエミッション

国連大学が提唱した構想で、産業から排出される全ての廃棄物や副産物がほかの産業の資源として活用され、全体として廃棄物を生み出さない生産をめざそうとするもの。NTTグループでは、最終処分率1%以下をゼロエミッションと定義。